



Canadian
College

Crafting Global Trade Leaders

学生体験記

国際貿易プログラム



The Professional Path
to Global Markets

International Trade & Co-op Diploma

MASAKI KATADAさん

たくさん友達ができることを祈っています！



トター ENGL 125レベル 12週

12週間

フルタイム28レッスン



International Trade & Co-op Diploma 2年

コープ先: 空港内 小売店

倉庫担当者として、入荷、運搬、品出しなど

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出

国際貿易コースがあるカレッジに絞って探していましたが、各カレッジのHPや雑誌等を拝見した際に、**Canadian College**が特に国際貿易コースに力を入れているように見受けられ、また留学エージェントからお勧めされたため選びました。一番の思い出は、テスト前日に空き教室で勉強し、午前0時過ぎに帰宅したことです。



語学コース受講で 役に立ったこと

英語を聞く、話すことに慣れることができました。また多少ですが、**カレッジ入学前に友達を作ることができました。**

一番印象に残っている 科目や授業内容

Speaking and Presenting 英語力への不安から正直選択したくない科目でしたが、そこを**敢えて履修しました。人前に立って英語でプレゼンする度胸、自信が身についた気がします。**

コープ体験

バンクーバー空港で、Stock positionで注文管理や在庫管理、店舗作業に加えて新店舗の立ち上げまで経験しました。小売店で働くことは初めてでしたが、消費者への対応や関わり方を学べたこと、英語環境で仕事できたことはとてもいい経験になりました。ただ、空港のセキュリティ内に入るために日本から犯罪経歴証明書取得しなければならなかったり(届くまで2ヶ月以上かかりました)、過去5年間の経歴証明が必要だったりとセキュリティが厳重すぎて心折れそうになりました。また空港内を行き来することも多いポジションだったので体力的にも大変でした。



就職まで

IndeedとLinkedinに登録していましたがLinkedinの使い方がイマイチわからなかったなので、ほとんどIndeedで応募していました。進め方としては、まずは面接に慣れる必要があると思ったので、(言い方悪いですが)適当に応募し面接まで進んだ企業で面接練習をしました。大体1日に20〜30社応募していたと思います。何社か面接を経験すると聞かれる質問や受け答えの内容が固まってくるので、そこから自分のコースに関連する職種や業界の職への応募を始めました。就活を通して苦労したことは、自分の思いや価値を正しく伝えることでした。日本語では簡単に伝えられることも上手く言葉に出来なかったり、理解されていないように感じることも多々あり、毎回のようにもどかしく感じていました。またこれは個人的な感覚ですが、自分の経歴の応募した企業(業種、業界、ポジション)との親和性について、(日本の就活と比べても)より重要視されてるように感じました。経験のある業界、業種が同じでも扱っていた商材が異なるため採用見送りとなることが何度もありました。準備していてよかったことは、面接練習もそうですが、履歴書とカバーレターの完成度を上げたことでした。初めはネットから引っ張ってきたフォーマットを使っていましたが、カレッジのコープスタッフに何度も相談し変更を加えたところ、面接まで進める数が格段に上がりました。

大変だったこと

全国から利用者が集まりますし、例えばコミュニケーションエラーによってお客さんが搭乗に間に合わないといったことが発生しかねない職場でしたので、コミュニケーションを正しくとる、適切に対応しなければならないといったプレッシャーのようなものがありました。

International Trade & Co-op Diploma

KATSUHITO KIKUTAさん

もし、Coop留学をしてみたいと思っていただければ挑戦してみてください。海外で学校に行きさらに仕事をするという事はとても大変な事だと思いますが、留学中にした経験はいつか何かの形で役に立つと思います。自分が2年のプログラムに通って感じたのは、英語力は有ればあるほど有利になる傾向がある。そして、日本でアルバイトも含め、職歴があった方が仕事は見つけやすいことです。英語力は言うまでもないですが、カナダでは経験を重視される傾向があるので、Coop留学に興味を持ったら、勉強したいコースに関連した仕事、ボランティアなどを経験しておくとう利になると思います。正直、大変な事が多いCoop留学ですが、人生は1度しかないのではあれば良かったと後で後悔しないためにも、気になっているのであれば挑戦することをお勧めします。



ダイレクト入学

International Trade & Co-op Diploma 2年

コープ先: 生活雑貨・食品輸入販売会社

商品のピッキング、ラベリング、注文書確認、郵送など

Canadian Collegeを 選んだ理由

Canadian College が国際貿易の勉強に強みがあり、2年間のプログラムであったから。日本では貿易に関連した業界で働いており、留学を考えた際に自分が働いていた業界に関連した事を Canadian Collegeで勉強できることを知りました。このCo-opを通してスキルアップを考えられる事、さらに留学するのであれば、できるだけ長く海外に滞在したかったので2年間あるこのDiplomaのコースは、条件にとっても合っていました。

カレッジの生活を通して、様々な経験を持った人達に出会えたこと。国籍は勿論、年齢も様々な人がクラスメイトもいて、その人達の話聞くのはとても面白かった。特に自分の国で仕事をしてきた上で、カナダに来た自分と似たような境遇の人の話を聞くのは興味深かった。比較的年齢が若い人達とも話したり、遊ぶ機会もあり、現在の流行のものなども教えてもらったりして、日本にずっといたら経験出来ないことをカレッジの生活を通してする事ができました。

Canadian Collegeでの 一番の思い出

一番印象に残っている 科目や授業内容

Communications / Intercultural Communication

これらのコミュニケーションの授業は色々な国籍の人たちがいるカナダでは、**仕事のみだけでなく私生活でも役に立った**と思います。それぞれの**国ごとの会話の方法**（代表的なのは、日本は間接的に物事を伝える傾向が強いが、北米では直接的に伝える傾向がある）や**ジェスチャーの意味**（首を振って頷く動作が、日本ではYESの意味になるが、ある国ではNOの意味になる）の違いを知ることが出来たのは、**さりげなくカナダでの日常に役立っている**と思いました。面接や同僚との会話の時に気をつけたり、その違いを他の国籍の人と会話する際の種にする事もできました。**カナダだからこそ役に立った授業**だと思います。



就職まで

現在の職場はカレッジからくる求人で見つけましたが、主にIndeedや日系のウェブサイトを使って仕事探しをしました。気になった仕事でウェブから応募し相手からの返事が遅い、来ない場合は**直接伺って履歴書を渡す**などもしました。現在の職場の面接は全部で2回あり、全て電話での面接でした。1回目が人事担当者、2回目が社長との面接でした。**電話面接の場合ですが、自分の履歴書をパソコンの画面に表示させながら面接**すると良いと思います。慣れない英語でさらに電話での面接で、履歴書に書いた内容が思い出すことが出来ないことがありました。その場合に**パソコンで履歴者を開きながら面接**をすると、メモや台本の様に使えて落ち着いて進めることが出来ました。

コープ体験



日本のお菓子を日本から輸入して、主にバンクーバーにある日系、アジア系のスーパーマーケットに販売をしている会社で働きます。自分が担当している主な業務は**倉庫で商品のピッキング、ラベリング**、お客さんからのオーダーとピックした**商品が間違っていないかのチェック、デリバリー**をしています。さらに、およそ月に1回、日本から船で大量のお菓子が輸入されてくるので、その荷下ろしも行っています。初めの頃は倉庫のどの場所に何が置いてあるのか分からず探すのに時間が掛かったり、お客さんによってラベルの貼り方を変えなければならないなどのルールがあり、仕事を覚えるのが大変でした。**職場では日本語、英語両方使う**ので英語で仕事を教えてもらう場合は仕事を覚えること、英語を使うことで2倍エネルギーを使いました。デリバリーでは車を運転する必要がある為、カナダの交通ルールや道などを覚えなければならず、さらに運転する車も乗用車と比べると大きいので初めの頃はとても緊張しました。お店によってはデリバリー時間の希望、商品を下ろす場所のルールもあり、それらを間違えるとトラブルに繋がるので、**予め同僚に情報を教えて貰い**ミスしない様にしていました。今ではある程度仕事も慣れ、倉庫での仕事はスムーズに行う事ができ、同僚と会話をするなどして余裕を持って仕事ができています。デリバリーではお客さんにも顔を覚えてもらい、お店に着いたら、お客さんと話しながら仕事をして外国らしい雰囲気仕事をしている気がします。

大変だったこと

仕事探しの時は特に実感しました。自分が採用されなかった時、1番最初に考え付くのは、**もっと英語が使えたら採用されたのではないかと**いつも思いました。その場合はなるべく早く、その時理解出来なかった、伝えられなかった英語を思い返し**復習**する様にしました。理解出来なかった質問の場合、使っていたと思われる単語などを予想して調べ、どのような質問していたか確認する様にしています。自分が喋れなかった場面の場合、**もう1度自分で言いたかった文**を考えます。その後、その文に使われている単語などが合っているか調べたり、ChatGPTに聞いてみたり、英語が流暢な友達にこの表現は自然か確認し、最後に**シャドーイングの様に口に出す**様にしています。そして、次の面接などで似た様なことで躓かない様にしていました。また、**街を歩いている時や、レストランにいる時に英語の会話が聞こえたらその会話に耳を傾け、聞き取れる事ができるか挑戦**したりします。そして聞き取れていたなら**自分を褒めてなるべく自分に自信をつける**様にしています（笑）

International Trade & Co-op Diploma

YUKIさん

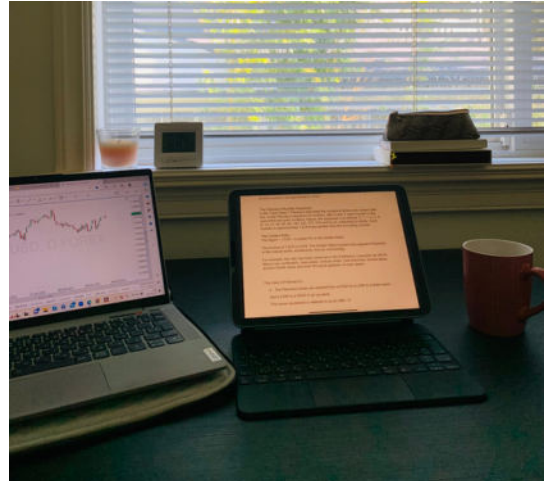
留学はあくまで手段であって、ゴールではありません。留学を通じて何が得たいのか、その先を考えることが大事だと思います。どんな結果であれ、留学という経験は大きな財産になりますので、みなさんの理想が叶えられるよう応援しています。



International Trade & Co-op Diploma 2年

コープ先: インテリア雑貨店
Merchandise Associate

Canadian Collegeを 選んだ理由



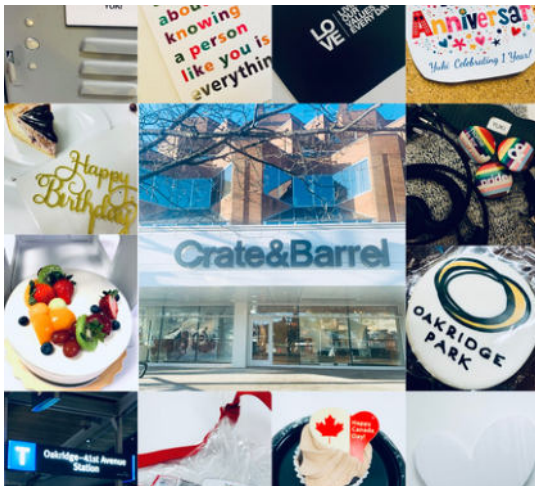
これまでの社会人経験を踏まえて、専門性を身につけたく、国際貿易のプログラムを探していたところ、Canadian Collegeが提供されていたため選びました。

志の高い友人に出会えたことです。ただ資格や学位取得のために勉強するのではなく、この先自分はどう生きたいのか、自己実現のためにお互いに切磋琢磨し合える友人と出会えたことが1番の思い出です。

一番の思い出

一番印象に残っている 科目や授業内容

FITT International Sale and Marketing 3時間のテストを受ける代わりに、商品をひとつ決めて**カナダから他の国に新規展開をするためのプラン**を作成しました。元々日本でも市場調査や商品分析などの業務に携わっていましたが、**海外でのデータ収集の仕方**や**英語でのプランニングの書き方**を学べたのは、留学を終えた今でも役に立っています。



コープ体験

ハイエンドのインテリア雑貨店で**Merchandise Associate**として、店舗の在庫や価格チェック、 SHIPPING の手配、レイアウトの変更など多岐にわたる業務を並行して行っていました。毎月1回マネージャーとの1 on 1 を通じて、日々の取り組みやチームメンバーとの関係性、業務効率化について考える機会もありました。年齢層も人種も幅広く、お客様も含めて**コミュニケーションを取る頻度**がとて**多**かったものの、内向的な私でも馴染めるくらい居心地の良い職場でした。

就職まで

日本での経験に沿った職種でコープ先を探していました。IndeedやGlassdoorを中心に求人サイトを見つつ、**Googleマップ**でも気になる会社がないかチェックしていました。面接では**基本的な自分の情報とこれまでの日本での仕事経験がどのように活かせるのか**については事前に準備しておいたので、よかったなと思います。一方、**人種や多様性に関するカナダならではの質問**もあり、日本での面接では経験することがなかったので新鮮でした。

大変だったこと



業務の幅が広がったのと、商品知識を英語で習得しないといけないことが1番大変でした。研修期間も短く、働きながら慣れるしかなかったため、初めは右往左往していました。加えて、**トランシーバーを使ってコミュニケーション**を取ることが多く、英語で話すことに慣れていない私にとってはとてもハードルが高かったことを覚えています。それでも慣れていくしかなかったので、**わからないことは周りに聞いて、ひとつずつ覚えていきました。周りと話すことで、メンバーの人柄を知れたので、自分がハードルだと感じていたことも乗り越えられていたように思います。**



卒業後

カレッジ卒業後は「**グローバル×キャリア×ライフ**」を掛け合わせたデザインサービスを立ち上げました。情報過多でスキルの習得ばかりに目を向けられる今の時代だからこそ、**周りに流されず自分自身の価値観や理想のライフスタイルと向き合うことが大切だ**と感じています。

その中で**グローバル**という広い視点で、**自信を持ってキャリアを築ける人が少しでも増えるよう**、このサービスを通じてサポートしていきたいと思っています。

International Trade Training Intense Diploma

MAKO さん

専攻したい科目（貿易）を開講しており、国際資格FITTの取得プログラムも開講されていたからです。

Canadian Collegeを 選んだ理由



FITGlobal value chain: 運送手段の決め方、outsourcing、輸出入後の保管方法など、貿易に必要なこと全てを学びました。ページ数がとても長く読むことが大変ではありましたが、貿易における流れを一通り学ぶことができました。ここでの知識は、帰国後の就職活動で役に立ちました。"物流の流れ"を理解しているため、業界研究や企業研究をスムーズに行うことができました。また、"輸出入の何に関わりたいのか""どのように関わりたいのか"を授業を通して明確化できたため、面接の際には自分自身のキャリアプランを自信を持って伝えることができました。

一番印象に残っている 科目、授業内容

CANADIAN COLLEGE での一番の思い出



先生との出会いです。生徒と先生との距離がとても近く、真摯に向き合ってくれました。授業前後や休み時間に質問に答えてくれるだけではなく、メールで質問をしても必ず返信をしてくれました。また、授業には関係の無い個人的な事にも相談に乗ってくださり、とても心強かったです。帰国後の現在も近況報告をしており、先生達には感謝の気持ちで一杯です。

Trade Management & Co-op Certificate

AYANA さん

留学生活は楽しいこともつらいこともあると思います。無駄な経験はひとつもなく、
全ての経験が今後の自分の成長に繋がると信じてお互い頑張りましょう！



2週間
フルタイム28レッスン
ENGL 125レベル 2週



Trade Management &
Co-op Certificate1年

コープ先: 物流会社
営業、広告、
ソーシャルメディアマーケティングなど

Canadian Collegeを 選んだ理由

元々日本で国際貿易系の企業で働いており、カナダで
英語で国際貿易を学び、さらに知識を深めたいと思い
そのコースがあるCanadian College を選びました。



語学コースの受講で 役に立ったこと

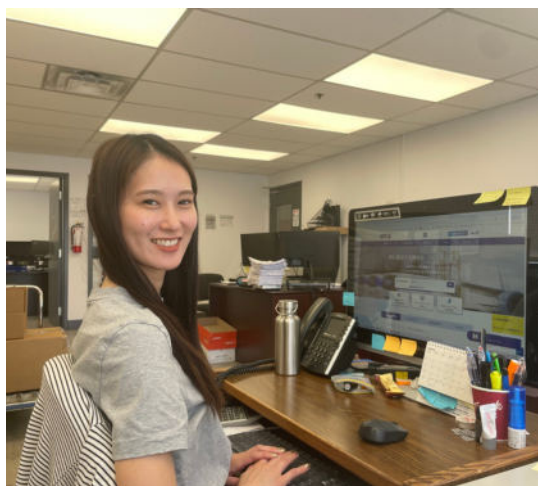
CCELは2週間という短い期間でしたが、**耳を慣らす**という意味でとても役立ちました。カレッジは全ての
授業を英語で聴かなければならないので、**CCELを受講して本当に良かった**と思います。CCELで出会った
友人も**その後の留学生活の中で貴重な存在**になりました。

Canadian College での一番の思い出

様々なクラスでのプレゼンテーションです。元々人前で話すこ
とが苦手でしたが、6ヶ月の間に授業で**何度もプレゼンテーシ
ョンを行う機会**がありました。回数を重ねるうちに、話し方や
伝え方のコツを覚え、最後のプレゼンテーションでは堂々と人
前で話すことができるようになり**自分の成長**を感じました。グ
ループでのプレゼンテーションでは、**他のメンバーと協力して
作り上げたこと**もとても良い思い出です。

一番印象に残っている 科目や授業内容

FITTの資格に関する授業です。日本で貿易に関する仕事をしていたのですが、**授業では知らないことも多く学ぶことができた**、当初の目的通り更に知識を深めることができました。FITTの資格試験に合格したときは、とても嬉しかったです。



コープ体験

日系の物流会社のバンクーバーオフィスで**Sales & Marketing**として働いています。元々日本でも同様の職種で働いていましたが、**カナダならではのルールやビジネススタイル**に慣れるのに始めは苦労しました。今も日々試行錯誤ですが、**文化の違いを楽しみながら**働いています。

就職まで

仕事探しは自分が想像していたより大変でした。**毎日2社以上アプライすると自分で決め**、毎日様々な求人サイトを閲覧しました。本格的な仕事探しを初めてから採用まで1ヶ月ほどかかりました。レジュメは学校のアドバイザーに見ていただいたり、カナディアン友人にもチェックを頼み何度も修正しました。面接は日本よりカジュアルな印象でした。

Sales & Marketingというある程度の結果が求められるポジションで、プレッシャーを感じることもあります。それでも**カナダスタイルなら営業とは何か？と自分の中で考え、工夫し**、チームの仲間の協力も得ながら日々乗り越えています。

大変だったこと

Trade Management & Co-op Certificate

ANGIE さん

仕事を辞めてまで留学しましたが、これまでにない経験や仕事をする事が出来ました。
自身が何をしたいのかを明確にすることで留學生活を楽しめるのではと思います。



ENGL 125 レベル 2週

12週間

フルタイム
28レッスン

スタート ↑

ENGL 120レベル 10週



スタート時



*修了時

アルバイト先



Trade Management &
Co-op Certificate 1年



International Business
Certificate

旅行会社

*コープ就労の条件が満たされなかった場合には、
単位を取得した科目が該当するプログラムの修了書が授与されます。

Canadian Collegeを 選んだ理由

貿易コースを専攻できるため



就労体験まで

旅行会社にて、日本人旅行者に向けたホテルやレストラン等を手配していました。

主に日系のサイトを使用し、数時間おきにサイトをみて仕事を探しました。 **早いもの勝ち**なので、**相手に送るメッセージの文面を用意おくのがオススメ**だと思います。日本と違って志望動機が聞かれず代わりに**今まで何をしていたのか、なぜカナダにきたのか**を聞かれました。面接では日本と同様には**はっきり言葉にすること、マナーや配慮、服装に気を遣う事が必要か**と思いました。

業界未経験でしたがツアーの手配を一から携わることができ、**カナダのルールや文化を知る機会**にもなりました。

大変だったこと

電話対応が一番大変でした。対面とは違い、身振り手振りで伝えることができないこと、電話はクリアに聞こえないため単語を聞き取るのに苦労しました。 **いくつかのパターンを想定したフレーズを用意すること**、言い換えて質問返しして**何回も確認**して乗り越えました。

Trade Management & Co-op Certificate

CHINATSUさん

まずは留学をするという自分の勇気を褒めてください！！留学中は思い通りにいかないこともハプニングもあり、辛くなることもあると思いますが、それが自分を成長させたり、新しい出会いや経験にも繋がります。だからまずその一歩を踏み出そうとしている自分の気持ちを忘れずに、目標を持って、留学生活を楽しんでください！



ENGL 125レベル 8週



12週間



ENGL 120レベル 4週

フルタイム28レッスン



Trade Management &
Co-op Certificate1年

コープ先: 生活雑貨・食品輸入販売会社
商品管理などの事務

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出

FITTが受講できる学校だったため。

1番を決めるのは難しいですが、学期末の各教科の試験やプレゼンテーションを終えた後、友達と達成感を感じ、喜んだことです。



語学コース受講で 役に立ったこと

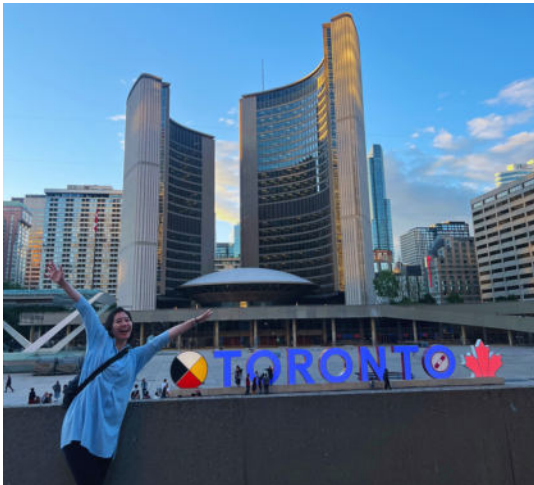
そのままカレッジへ進む友達と出会えて、情報交換ができたのでカレッジ入学時は何も不安がなかったことです。またCCELでカレッジの前から英語を話す機会がたくさんあったので、緊張することもなく新しい友達にも出会えました。

一番印象に残っている 科目や授業内容

やはりFITTのクラスです。幅広く国際貿易について学べたので、自分の興味も広がったと思います。

コープ体験

日本の生活雑貨や食品を輸入し販売している会社に就職しました。役割としては**カナダへ輸入する際の規制などを理解し、その商品が条件を満たしているかを確認したり、また商品情報を集めてラベルに反映させたりする事務の仕事**です。普段何気なく買っている商品も、販売するまでに様々な手続きがあり、それを知れたことや、商品者が安心して購入できるように、**正確な情報を提供するという責任感**もあって、**充実した経験**になりました。



就職まで

私は**IndeedやJPCanada, LinkedIn**などを使ってました。学校の先生に**履歴書を添削**してもらったり、予め質問で聞かれそうなことは**原稿にして覚える**ようにしてました。そのお陰もあり、面接では自分が伝えたいことがスムーズに言えました。

大変だったこと

コープ先がなかなか見つからなかったことです。日本で仕事を辞めて留学してきたので、自分のしてきた経験は活かされないのかと自信を失う日々でした。けれど、周りの友達も同じように苦戦をしていて、みんなで励まし合いながら、**応募を続けました**。また、少しでもいいと思った求人は応募をしたり、**他の求人サイトから同じ企業に応募する**などを繰り返しました。今回内定を頂いた企業には**直接履歴書も出し**に行き、**しつこくアピール**した結果、内定にも繋がったと思います。

Trade Management & Co-op Certificate

KANAさん

留学は、期待と不安が入り混じっていることだと思いますが、その経験は、必ず将来の強みになると思います。
皆様の留學生活が充実したものになることを祈っております！



2週間



スタート時



修了時

コープ先

Trade Management & Co-op Certificate 1年

International Business Certificate 6ヶ月

ロジスティクス企業
事務職 3ヶ月

スタート時IELTS6.5

早期帰国により、コープ時間が満了とならなかった場合には、
単位を取得した科目が該当するプログラムの修了書が授与されます。

CCEL 英語コース

カレッジに入る前に、なるべく多くの時間を、英語慣らしに
使うことが最適だと思います。

また、CCEL英語コースのたくさんの生徒が、カレッジに入学する生徒さんだったので、安心しましたし、
カレッジに入る前に友人を作ることは、何よりも心強かったです。私はカレッジ入学前の2週間のみ、
CCEL英語コースに通いました。2週間のみでしたが、**通って本当に良かったと実感**しています。
カレッジに入るといきなりプレゼンがあったりと、授業に追いつくこと自体に必死でした。



FITT（国際貿易）の授業です。もともとFITT Certificateを
取得したかったので、このコースを選びました。この授業は
基本的には聴講ですが、**貿易実務初心者にとっては基礎から
学べるコース**なので、とても**理解しやすい授業**かと思いま
す。先生も図を描いて説明してくださるので、非常にわかり
やすかったです。例えば、海外進出を検討している日本企業
が、海外に支店を立てるのか、ライセンス契約で店舗を構え
るのか、フランチャイズ店を設置するのか、工場を設立して
現地で生産プロセスを完結させるのか、いろんなビジネスが
考えられ、どの投資方法が最適であるのか、事例を使って学
べます。

FITTの授業内容は、これから貿易業界で働くことを目指す人だけでなく、**すべての業界で国際的に活躍して
いく中で必ず役に立つ内容**だと思います。

一番印象に残っている
科目や授業内容

一番の思い出

英語でグループプレゼンテーションができたことです。日本の大学の講義は、聴講することがほとんどで、受動的なイメージですが、カナダの学校だと、**主体的に動いていかないと、何も評価されないことが印象的でした。**

日本で社会人経験を5年積み、セミナーを開催していたこともあるので、人前に立つことに抵抗はありませんでした。ただ、全て英語で話すことは初めてで、最初は上手く英語で表現できず、悔しい思いもしましたが、入学して3ヶ月も経つと、**英語プレゼンテーションならではのコツもつかめ、次第にスムーズに話せるようになりました。**

カナダでの仕事探しが一番大変でした。日本で職歴があっても、業界未経験の場合、カナダで仕事を見つけることは、かなり難しいです。私も**約半年間で50社以上応募**しましたが、その中で面接まで声がかかったのは、数件のみです。Indeed, Glassdoor, LinkedIn, 人材カナダ、ワーホリシロップのほか、気になる企業のWebサイトから直接応募もしていました。**諦めず、根気よく探していくしか方法はない**と思います。履歴書の準備や、事前に質問に対する回答を作っておくなど、**事前準備は徹底しておくことが、心の余裕につながる**と思います。

現地の方からアドバイスいただいたことは、**自分の希望する職種でなくとも、まずはカナダで何かしらの職歴を作ってから、コープ先を見つけるという手法**です。実際私も、カレッジに入ってすぐに、コープ先探しと並行して、ローカルレストランでアルバイトをしていました。日常英会話のトレーニングにもなり、カナダでの職歴を履歴書に記載することができました。このように、**カナダの職探しと日本での職探しのコツは全く違うものになるので、最初は周りからのアドバイスをいただきながら、徐々にコツをつかんでいくことが大切**だと思います。

大変だったこと



コープ体験

私は**ロジスティクス企業の事務員**として採用されましたが、3ヶ月で解雇されました。それ以前から日本に帰国した後のことも考え、**転職活動を並行して続けていて、解雇された時期にタイミング良く、外資系企業から採用**をいただきました。カナダに残ってコープ先を探し続けるか、日本に帰国して外資系で働くか、最初は迷いましたが、外資系企業から好条件で採用をいただき、早期帰国の決心がつきました。社会人の方で留学後日本へ帰国される方は、**上手くアピールできればキャリアアップにつながるはず**です！

Trade Management & Co-op Certificate

E.Mさん

留学は日本に住んでいたら遭遇しないような経験や人にたくさん出会います。いいことも悪いことも今となっては自分の糧になっているなと感じます。どんな状況でも楽しく前向きに頑張ってください！応援してます。



20週間
スタート時 ENG120
約3ヶ月後 ENG125



Trade Management
Co-op Certificate1年

コープ先：ダイバーウォッチ製造・販売会社
セールス事務

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出



生徒へのサポートが手厚いと聞いたため、Canadian Collegeを選びました。

どの授業でも**プレゼンテーション**が必ずあったので、**とても嫌でした（笑）**人前で話すのが苦手だったので。特に**マーケティングの授業**でのプレゼン（特にプレゼンに至るまで）が強烈に大変だったのを覚えています。実在する企業の中からグループで一社ピックアップして、マーケティングで使われる理論やモデルを元に自分たちで解析してまとめて発表というものでした。個々で理解して**パワポにまとめる、発表資料作り**などやるのがいっぱいだったので、みんなで、いつまでにここまで各自やっておくとか決めてました。時々ビデオチャットを使って夜中までどうするか話したり、その時は終わりがいいんじゃないかと思って辛かったです。でもグループのみんながいい人たちだったのが救いでした本当に。発表後グループのみんなが『最高だったじゃん！』って褒め合った**タフで楽しかった思い出**です。

どの授業も私にとっては**新鮮**だったので、最も印象深かった科目を決めるのは正直難しいです。ただ、一番実践で役立った授業といえば、私は**コミュニケーションの授業**だったと思います。実際の**カナダでのビジネス場面**を想定した**初対面での挨拶、エチケット、文化**などを学びました。特に**面接を受ける際の注意点**そして、**レジュメやカバーレターの書き方**はCo-op先探しや職場でとても役立ちました。

一番印象に残っている 科目や授業内容

コープ体験

Co-op先はダイバーウォッチを製造・販売する現地企業でした。私はセールス部門のセールス事務として取引業者からの注文を入力、請求書の発行、商品の問い合わせや在庫確認、配送状況の確認の仕事をしていました。日本のような研修期間ががっつりないので、やりながら覚える、自分から聞くというスタンスでした。また日本のような上下関係があまりないので、役職が上でも下でもみんな接し方がフラットでした。週一の会議でマネージャーから「何か思ったことある？」と一番下っ端の私へも必ず意見を求められたことは、すごく驚きました

就職まで

コープ採用まで辿り着くのに**2ヶ月ほど**かかりました。Indeed、Craigslist、LinkedInなどの求人サイトやコミュニティサイトから探しました。当た**って砕ける精神**で数えられない程応募し続けました。最初に受けた面接が**電話面接**だったのですが、面接官の会話が聞き取れずとても心折れたことを覚えてます。必ず面接で**自信はあるか**と聞かれます。最初ははっきりYESと言えなかったのですが、『この会社で絶対できます』と受かりたければ必ず言ってください。言った**もの勝ち**です。Co-op先に決まった企業は最初配送部門の募集で、面接を受けて一度落ちところでした。その後人事の方から、「あなたの過去の経歴に合うポジションがあるけどどう？」と連絡をいただきました。その時すでに別の会社で決まっていたので断りましたが、その決まった会社とうまくいかず、**ダメもと**でもう一度薦めてくれたポジションの面接をさせてくれと言って、なんとか採用してもらうことができました。



大変だったこと

大変だったことは職場の環境に慣れることと**同僚とのコミュニケーション**です。自分の英語が相手に一回で伝わらない、会話スピードが速くて聞き取れない、周りが現地の方しかいない環境は常に気が抜けませんでした。今思えば時間が解決するものだと思いますが、あの時はみんなの足を引っ張りたくない、みんなに追いつきたいの一心で必死でした。私が勤務開始したところと繁忙期がかぶってみんな忙しく、でも聞かなければいけないという状況がまず大変でした。

その時に同僚にこんな状況で聞きづらいと話したら、『相手の顔色伺ってたらいつまでもあなたの仕事は終わらないし、質問しない＝理解しているとみんなは思うから控えめの姿勢はよくない』と言われ頑張って空気を読まず理解するまで聞くように徹しました。私なりですが、聞き方とかもこれは急ぎで回答してほしいとか、暇なときに教えてほしいとか間接クッションを言葉の前に入れて頼んだりしていました。朝やランチタイムが比較的ゆったりした時間帯だったので、自分から話しかけたりしましたし、同僚の会話中に自分から、そうなんだ！とかそうなの？とか短い言葉でも会話に混ざるように心がけました。

International Trade & Co-op Diploma

T.Iさん

留学することで日本にいたら経験できなかったことがたくさん経験できますし、帰国後ももちろん帰国しなくても、この経験は絶対に活かせるものになると思います。
でも留学して良かったと思えるようにするのは全て自分自身です！



4週間

スタート時 ENG130



International Trade & Co-op
Diploma 2年

コープ先: フォワーダー（貨物利用運送事業者）
データ入力

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出



実際に働く経験が大事だと思っていたので、できるだけ長いCo-opプログラムを探しており、1年間Coopができるという点と、バンクーバーで国際貿易をCo-op付きで学べるのが決め手でした。

マーケティングのクラスで一番大きなプレゼンの前日、WhatsAppでチームと連絡を取りながら夜中3時までみんなで協力してプレゼン資料を仕上げたことは一番の思い出です。

チームメイトには恵まれ、担当の割り振りや事前のデータ収集、まとめ等は非常にスムーズでしたが、みんなそれぞれがアルバイトをしながらのあのプレゼン準備は、単純にキャパが足りませんでした笑
当日は良い形でプレゼンを終えることができ、メンバーに感謝です。

国際貿易のGloval Value Chainで学んだインコタームズ

（貿易取引条件を定めた国際規制）は、Co-op先の仕事上知っておくとスムーズなことが多く、たまに当時のノートを見返しながら仕事をしていました。

経済学では、元々社会系の科目に苦手意識がありましたが、先生が明るくエネルギーで楽しめました。また、自分の社会人経験からも授業内容が染みるようになってきて、初めて経済学が楽しいと思えました。授業以降、以前よりも経済系のニュースを自分から見るようになりました。

一番印象に残っている
科目や授業内容

コープ体験



フォワーダーの通関部でデータ入力の仕事をしました。

データ入力といっても必要な知識も多いことや、**この業界で働くこと自体が初めて**なこともあり、日々学びがたくさんありました。実際に**FITT（国際貿易）**の授業で学んだ内容を活かすことができ、実用的なことを学んでいたんだなと実感しました。

仕事探しは基本的にIndeed等のサイトを利用、レジュメはカレッジの担当の方に**何度か見てもらい**仕上げました。

苦労したことは**応募後に返事がこない**こと、面接で英語が足を引っ張ったことでした。約80社応募して返事をもらったのは合計で4社のみでした。正直病みました笑

また私は、すぐ緊張してしまうタイプで準備不足の際は特に、頭が真っ白になるほど緊張してしまいます。そのため面接質問リスト（ネット検索と、自分が面接で聞かれたこと）を作り何度も練習しました。**準備したから大丈夫という自信**が緊張を和らげてくれました。

就職まで

大変だったこと

通常2人で仕事を分担していましたが、その同僚が約1ヶ月の休暇を取ることとなり、**1人で全てを回す**こととなった時期は大変でした。

入社から3か月たち、慣れてきたころではありましたが、知識・経験・仕事の処理能力は、その同僚の方が圧倒的に私より勝っていたため、はじめは不安でいっぱいでした。

ただ自分が**普段何に時間を要してしまうのか**分かっていたため、必要に応じて早めに始業する、間違えたことはメモに残し繰り返し返さない、**分からないことはすぐ聞く**、**タスクが多すぎる際は一人で抱え込まない**など基本的なことを徹底することで、1ヶ月を問題なく乗り切ることができました。

この期間を経て知識が増え、**何より自信が付き**ました。

International Trade & Co-op Diploma

TAKAOさん

英語ができなくても大丈夫です。この国にいる人はみんな英語が問題ないのだと考えがちになりますが、他の方も勉強してる途中なのです。英語を話しても通じないことも多々あるかと思いますが、それはお互いが勉強をしている最中だからです。自分そして相手のためにも、どうか通じないことを恐れずに積極的に交流して上達させましょう！



12週間

スタート時
TOEFL iBT 57



International Trade & Co-op
Diploma 2年

コープ先：医療器具販売会社
ピッキング、在庫管理など

Canadian Collegeを 選んだ理由と 一番の思い出



貿易関係の勉強と職業経験を積めるプログラムに魅力を感じたためCanadian Collegeに決めました。
セメスター終了後の飲み会が一番の思い出です。

授業によってはチームで課題を進めることがあるのですが、そのような授業だとチーム内で仲良くなりやすいです。そのような友人たちと辛いテストを乗り越えた後の解放感は素晴らしいものでした。次のセメスターまでの1週間の休日を使って遊びに行ったり、飲みに行ったりしました。

国際貿易の **Feasibility of International Trade** が印象に残っています。

国籍の異なる方々と協力して、対象となる国について調査し発表しました。それぞれの得意なこと不得意なことを考慮し協力してひとつの課題に取り組めたのは、非常に楽しい経験になりました。

一番印象に残っている
科目や授業内容

コープ体験



歯科インプラント器具を販売する企業にて採用していただきました。注文書をもとに必要な商品を倉庫から取り出し、パッキングをしてお客様にご連絡する仕事でした。また在庫の整理及び管理も経験することができました。**未経験の職種**だったので**1からやることを覚えなおす**が必要がありましたが、同僚が質問をしやすい雰囲気の方々だったため、なんとかある程度一人で作業をこなせるようになりました。



就職まで

Indeedなどの紹介サービスを利用して現在の職場を見つけました。現在の職場を見つけるまでは、**興味のある職場にひたすら応募**しました。最初は応募してもほぼ返事がありませんでしたが、**レジュメの添削**などで**カレッジのスタッフに協力**していただき、面接などへ進めるようになりました。結果、採用していただくことができました。

大変だったこと

入学して最初のセメスターです。カナダきてまだまだ英語が拙い中、専門的な授業を受講することになり、**先生の仰ることもほとんど理解できない状態**でした。授業後に先生にどんなに英語が話せなくとも、**恥ずかしい思いを押し殺して質問**しました。今思えば、基本的な質問の定型文などはこのような経験をもとに習得することができたのではないかと思います。**人に何かを尋ねる機会は非常に多いため**、早い段階で使えるようになって助かりました。

International Trade & Co-op Diploma

N.Kさん

バンクーバーに来たからこそできることを、めいっぱい味わいましょう！雄大な自然や各国の料理を楽しむこと、世界中からきた人々と友達になること、多様な人種・価値観の中で互いの存在を認め受け入れること、実際の社会で英語を使って生活すること（相手がどんなに自分の英語をわかってくれなくても負けてはいけません笑）……。

大変なことももちろんありますが、それもここに来たからこそ得られる大切な人生経験です。



11週間

スタート時ENG120



スタート時

→

修了時

コープ先

Trade Management & Co-op Certificate 1年

International Trade & Co-op Diploma 2年

製菓会社

受注、請求書発行、データ入力などの事務

プログラムスタート後にアップグレードが可能

一番印象に残っている
科目や授業内容
大変だったこと



FITT のコースです。先生もクラスメイトもフレンドリーで楽しく授業を受けることができました。貿易の知識が全くない状態でスタートしたので、インコタームズ（貿易取引条件を定めた国際規制）やサプライチェーンの流れを理解するには苦労しましたが、今後仕事で活かすことができたらいいなと思っています。テキストの大量の英文を読むことは大変でした。テキストを読まないで授業を理解できないのはわかっているのですが、最初は読んでもわからない！量が多くて読み切れない！しかも日本の専攻と違うので予備知識もない……という状態でした。自国でその科目に関連する職務経験がある友人に聞いて要点を抑え、とにかく挫けず読み続けるようにした結果、最後はだいぶ慣れて英文を読むことに対する抵抗が軽くなりました。

求人サイトを利用して地道に就職活動しました。カナダではネットワークで仕事を見つけることが多いと聞き、並行してジョブフェアやトレードショーに参加したり、知人に相談したりもしました。

日本のお菓子を輸入している会社で働きましたが、カレッジでの学習内容が、実際の現場でどのように実施されているかを知ることができました。また、日本の職場の文化との違いを肌で感じることも多かったです。上司や先輩にもHi! や Bye byeと挨拶するのは、慣れませんでした（笑）同僚との会話の中で、世界から見た日本の姿について考えさせられることもあり、カナダ、日本、世界の様々な国の考え方に気づく貴重な機会になりました。

コープ体験



CCEL



#450-1050 Alberni St.
Vancouver, BC V6E1A3, Canada



canada-english.com/jp/



@canadiancollege_english



DLI#019352470312



Canadian
College



#450-1050 Alberni St.
Vancouver, BC V6E1A3, Canada



canadiancollege.com/jp/



@canadiancollege



DLI#019352621432



STENBERG
COLLEGE



#750-13450 102nd Ave.
Surrey, BC V3T 5X3, Canada



international.stenbergcollege.com



@stenbergcollege



DLI # O19283910772

